



平成23年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月9日

上場会社名 ザ・パック株式会社 上場取引所 東大
 コード番号 3950 URL <http://www.thepack.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中尾 吉計
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)織田 強 (TEL)06(6972)1221
 四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第1四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第1四半期	17,621	△0.2	941	△5.9	966	△6.4	480	27.6
22年12月期第1四半期	17,655	△0.2	1,000	41.5	1,032	37.9	376	△20.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第1四半期	24 16	—
22年12月期第1四半期	18 93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第1四半期	58,566	32,191	54.9	1,617 27
22年12月期	64,866	32,095	49.5	1,612 48

(参考) 自己資本 23年12月期第1四半期 32,173百万円 22年12月期 32,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	20 00	—	20 00	40 00
23年12月期	—	—	—	—	—
23年12月期(予想)	—	20 00	—	20 00	40 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,800	2.4	2,350	1.2	2,430	2.2	1,150	2.0	57 81
通期	84,200	2.4	5,900	2.5	6,050	2.4	3,250	5.6	163 37

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期 1 Q	19,900,000株	22年12月期	19,900,000株
23年12月期 1 Q	6,456株	22年12月期	6,456株
23年12月期 1 Q	19,893,544株	22年12月期 1 Q	19,894,116株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成23年1月1日から平成23年3月31日まで）におけるわが国経済は、雇用不安や個人消費の低迷が続く厳しい状況のなか、前半は企業業績全般に緩やかな回復の傾向がみられましたが、本年3月11日に発生した東日本大震災により、直接に被災した地域経済の悪化にとどまらず、電力供給や放射能汚染に伴う問題、原材料の調達問題が発生するなど、日本経済全体が影響を受け、先行き不透明な状況となっております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高は176億21百万円（前年同期比0.2%減少）、営業利益は9億41百万円（前年同期比5.9%減少）、経常利益は9億66百万円（前年同期比6.4%減少）、連結第1四半期純利益は4億80百万円（前年同期比27.6%増加）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

（紙加工品事業）

当第1四半期連結売上高の57.6%を占めるこの部門では、紙袋（対連結売上高構成比30.7%）は、海外子会社の業績は堅調に推移しましたが、国内高級品の出荷が上向かず、紙袋の同上売上高は53億97百万円となりました。

紙器（同上構成比12.8%）は、新規市場の開拓に努めましたが、同上売上高は22億53百万円となりました。

段ボール（同上構成比11.8%）は、主要顧客である家電業界の需要が伸び悩み、同上売上高は20億75百万円となりました。

印刷（同上構成比2.3%）の同上売上高は、減少傾向に歯止めがかかりつつあるものの、4億12百万円となりました。

以上により、この部門の同上売上高は101億38百万円、営業利益は6億8百万円となりました。

（化成品事業）

当第1四半期連結売上高の20.8%を占めるこの部門では、生産市場向け製品が堅調に推移し、同上売上高は36億70百万円、営業利益は2億56百万円となりました。

（その他）

当第1四半期連結売上高の21.6%を占めるこの部門では、PASシステム（在庫管理から納品まで一括で請け負うアウトソーシングシステム）に係わる用度品及び繊維品が順調に推移し、同上売上高は38億12百万円、営業利益は2億87百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ63億円減少し、585億66百万円となりました。これは主に「現金及び預金」の増加、「受取手形及び売掛金」・「有価証券」の減少によるものです。

当第1四半期連結累計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ63億96百万円減少し、263億74百万円となりました。これは主に「支払手形及び買掛金」・「設備関係支払手形」の減少、「賞与引当金」の増加によるものです。

当第1四半期連結累計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ95百万円増加し、321億91百万円となりました。これは主に「利益剰余金」の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて36億50百万円増加し、115億11百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少及び法人税等の支払額等があった一方、売上債権の減少、税金等調整前四半期純利益等により22億73百万円の収入（前年同期は22億32百万円の収入）となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

当第1四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等があった一方、有価証券の売却による収入等により24億47百万円の収入（前年同期は25億14百万円の支出）となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

当第1四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払及び長期借入金の返済等により10億74百万円の支出（前年同期は5億88百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

東日本大震災の影響もあって、主力販売先である流通市場、生産市場の企業業績及び個人消費の動向は不透明であり、原材料の調達や価格変動への対応等とともに、当面の間、厳しい経営環境が続くものと思われま

す。こうした状況のなか、当社グループは全社員の力を結集し、本年7月稼働予定の東京工場の生産能力を活用するなど、お客様にご満足いただける製品・サービスの開発と品質向上に努め、グローバルな視野で市場開拓、事業の拡大を行い、業務改革による合理化を一層推進して利益体質強化を図り、震災による業績影響を最小限に抑え、さらなる業績の向上に努める所存でございます。

東日本大震災による当社グループ従業員への人的被害はなく、被災地域に所在する茨城工場の損害も比較的軽微で、3月24日より通常通りに操業を再開しております。

このたびの震災による当社グループ業績への多少の影響は避けられないものでありますが、その影響額の内、把握できている分につきましては、概ね今期の業績に反映させております。

今後、連結業績予想に関して修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

該当事項はありません。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計基準等の改正に伴う変更

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

この適用による損益への影響はありません。

表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用に伴い、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,625	7,870
受取手形及び売掛金	15,346	21,008
有価証券	3,692	6,250
商品及び製品	4,970	4,447
仕掛品	551	426
原材料及び貯蔵品	621	599
繰延税金資産	427	284
その他	330	320
貸倒引当金	△34	△55
流動資産合計	34,533	41,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,443	3,509
機械装置及び運搬具（純額）	3,650	3,820
工具、器具及び備品（純額）	130	133
土地	7,545	7,544
建設仮勘定	5,686	5,317
有形固定資産合計	20,457	20,325
無形固定資産		
投資その他の資産	185	198
投資有価証券	1,921	1,664
繰延税金資産	959	999
その他	605	652
貸倒引当金	△96	△125
投資その他の資産合計	3,390	3,190
固定資産合計	24,032	23,713
資産合計	58,566	64,866

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,408	19,126
短期借入金	2,052	2,052
未払法人税等	533	1,239
賞与引当金	532	168
役員賞与引当金	8	28
その他	1,410	3,927
流動負債合計	20,945	26,542
固定負債		
長期借入金	2,871	3,559
退職給付引当金	2,425	2,433
その他	133	235
固定負債合計	5,429	6,228
負債合計	26,374	32,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,553	2,553
資本剰余金	3,165	3,165
利益剰余金	26,779	26,696
自己株式	△6	△6
株主資本合計	32,492	32,409
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	127	136
繰延ヘッジ損益	1	△3
為替換算調整勘定	△448	△465
評価・換算差額等合計	△319	△331
少数株主持分	17	17
純資産合計	32,191	32,095
負債純資産合計	58,566	64,866

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
売上高	17,655	17,621
売上原価	13,485	13,494
売上総利益	4,170	4,126
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	779	801
給料及び手当	786	782
役員報酬	89	97
賞与引当金繰入額	203	201
役員賞与引当金繰入額	6	7
退職給付費用	83	87
役員退職慰労引当金繰入額	8	—
減価償却費	84	73
賃借料	565	577
その他	562	556
販売費及び一般管理費合計	3,170	3,184
営業利益	1,000	941
営業外収益		
受取利息	19	17
受取配当金	0	0
その他	18	15
営業外収益合計	39	33
営業外費用		
支払利息	3	5
売上債権売却損	1	2
その他	1	1
営業外費用合計	7	9
経常利益	1,032	966
特別利益		
貸倒引当金戻入額	9	20
投資有価証券売却益	9	—
特別利益合計	19	20
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	3	—
投資有価証券評価損	229	21
災害による損失	—	94
特別損失合計	232	116
税金等調整前四半期純利益	819	870

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
法人税、住民税及び事業税	542	527
法人税等調整額	△98	△137
法人税等合計	443	389
少数株主損益調整前四半期純利益	—	480
少数株主損失(△)	△0	△0
四半期純利益	376	480

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	819	870
減価償却費	309	299
のれん償却額	6	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△50	△50
賞与引当金の増減額 (△は減少)	360	364
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19	△19
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	18	△8
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△243	—
受取利息及び受取配当金	△20	△17
支払利息	3	5
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	229	21
売上債権の増減額 (△は増加)	5,460	5,676
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△271	△667
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,723	△2,727
その他	△351	△276
小計	3,521	3,473
利息及び配当金の受取額	41	21
利息の支払額	△3	△5
法人税等の支払額	△1,325	△1,215
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,232	2,273
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△4,106	△798
有価証券の売却による収入	2,304	6,251
貸付けによる支出	△10	△83
貸付金の回収による収入	24	115
有形固定資産の取得による支出	△736	△2,781
無形固定資産の取得による支出	△2	△1
投資有価証券の取得による支出	△7	△256
投資有価証券の売却による収入	34	—
その他	△14	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,514	2,447

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△180	—
長期借入金の返済による支出	△30	△688
配当金の支払額	△377	△386
その他	△1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△588	△1,074
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△870	3,650
現金及び現金同等物の期首残高	6,101	7,860
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,230	11,511

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

	紙加工品 事業 (百万円)	化成品 事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	10,305	3,608	3,741	17,655	—	17,655
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,305	3,608	3,741	17,655	—	17,655
営業費用	9,671	3,335	3,433	16,441	214	16,655
営業利益	633	273	307	1,214	(214)	1,000

(注) 1 事業区分は、製品の種類により区分しております。

- 2 各事業の主な製品 紙加工品事業・・・紙袋、紙器、段ボール箱、段ボール、洋服箱、印刷
 化成品事業・・・ポリ袋、テラーバッグ
 その他事業・・・繊維品、その他雑貨

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が、90%を超えているため、その記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは紙袋・紙器・段ボール・ポリ袋の製造・販売を中心とした事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは製品の種類を考慮して、「紙加工品事業」、「化成品事業」の2つを報告セグメントとしております。

主な製品として、「紙加工品事業」は紙袋、紙器、段ボール箱、段ボール、洋服箱、印刷、「化成品事業」はポリ袋、テラーバッグであります。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙加工品事業	化成品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,138	3,670	13,808	3,812	17,621	—	17,621
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,138	3,670	13,808	3,812	17,621	—	17,621
セグメント利益	608	256	864	287	1,151	(209)	941

(注) 1 「その他」は繊維品、用度品、その他雑貨であります。

2 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していないセグメント間取引消去△6百万円及び全社費用216百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

セグメント別の状況

(1) 生産実績

(単位：百万円)

期別 セグメント	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	
	生産高	構成比
紙加工品事業	4,585	85.1 %
化成品事業	533	9.9 %
その他	267	5.0 %
合計	5,387	100.0 %

(注) 1 金額は製造原価で計算しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

(単位：百万円)

期別 セグメント	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)			
	受注高	構成比	受注残高	構成比
紙加工品事業	10,704	72.8 %	3,504	74.2 %
化成品事業	3,371	22.9 %	831	17.6 %
その他	634	4.3 %	389	8.2 %
合計	14,710	100.0 %	4,725	100.0 %

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2 その他事業の一部は受注生産を行っておりません。

(3) 販売実績

(単位：百万円)

期別 セグメント	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	
	売上高	構成比
紙加工品事業	10,138	57.6 %
化成品事業	3,670	20.8 %
その他	3,812	21.6 %
合計	17,621	100.0 %

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

品種別の状況

(1) 生産実績

(単位：百万円)

期別 セグメント	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	
	生産高	構成比
紙袋	2,547	47.3%
紙器	878	16.3%
段ボール	845	15.7%
印刷	314	5.8%
ポリ袋	533	9.9%
その他	267	5.0%
合計	5,387	100.0%

(注) 1 金額は製造原価で計算しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

(単位：百万円)

期別 セグメント	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)			
	受注高	構成比	受注残高	構成比
紙袋	5,754	39.1%	2,298	48.7%
紙器	2,440	16.6%	980	20.8%
段ボール	2,095	14.3%	181	3.8%
印刷	414	2.8%	44	0.9%
ポリ袋	3,371	22.9%	831	17.6%
その他	634	4.3%	389	8.2%
合計	14,710	100.0%	4,725	100.0%

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2 その他事業の一部は受注生産を行っておりません。

(3) 販売実績

(単位：百万円)

期別 セグメント	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	
	売上高	構成比
紙袋	5,397	30.7%
紙器	2,253	12.8%
段ボール	2,075	11.8%
印刷	412	2.3%
ポリ袋	3,670	20.8%
その他	3,812	21.6%
合計	17,621	100.0%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

以上